



和歌山県立医科大学 ファクトシート

データで読み解く和医大の「いま」

2024 / 2025

(令和6年)

(令和7年)

開学 1945年 (昭和20年)

2025(令和7)年11月24日、創立80周年記念事業を挙行了しました。

保健看護学部 2004年(平成16年)

薬学部 2021年(令和3年)

敷地面積 165,565.18㎡

甲子園球場の約4.3個分
(甲子園のグラウンド面積を約38,500㎡として算出)

歴代卒業生数

6,206名

- 医学部 4,710名(昭和23年度～)
- 保健看護学部 1,496名(平成17年度～)
- ※薬学部在校生 492名(令和3年度～)



令和6年度 国家試験合格率

医師 新卒生全体

91.1%

※ストレート卒業生=留年することなく卒業した学生

ストレート卒業生 91.4%

過去10年間の新卒生合格率(第110~119回)

94.8%

看護師・保健師・助産師

100%

看護師・助産師は8年連続
保健師は3年連続

卒業まで導く充実の教育環境

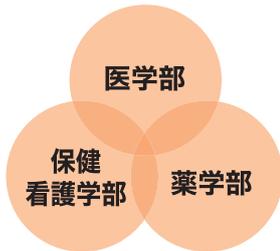
3学部合同 ケア・マインド教育

【20年の実施歴】

平成18年から

IPE(多職種連携教育)を導入

令和3年度(薬学部開設)からは
3学部合同で実施



◆3学部混成チーム

3学部からそれぞれ3名ずつの計9名で混成チームをつくり、患者視点を理解し、共感性や連携力を養います。



◆8つの医療テーマ

薬害肝炎、違法薬物、染色体異常、がん、臓器移植などの医療問題にグループワークや発表を実施。患者や家族との交流を通じ、より深い医療人視点を学びます。

教員一人当たりの学生数

(令和7年5月1日現在)

●医学部 1.8名

●保健看護学部 8.7名

●薬学部 8.2名

参考:公立大学全体11.0名

※公立大学ファクトチェック2024より

数字が小さいほど教員1人当たりの学生数が少ないことを示し、少人数のきめ細かな教育を実現します。

女性教員比率(助教以上)

21.1%

(令和7年5月1日現在)



図書館蔵書数

(令和6年度)

188,671冊 & オンラインジャーナル 5,990タイトル

公開講座等実施状況

(令和6年度)

公開講座

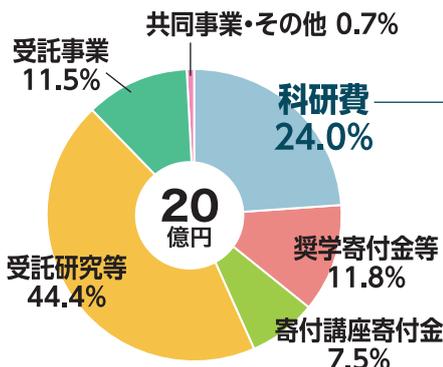
10回

出前授業

41回

外部資金受入額

(令和6年度)



科研費採択率

(令和7年度)

●新規 94件

●継続 160件

合計 254件

(応募330件)

新規採択率 28.5%

※「令和7年度科学研究費助成事業の配分について」(令和7年5月文部科学省研究振興局学術研究推進課)内「研究者が所属する研究機関別採択件数・配分一覧(令和7年度)」より算出

日本大学ランキング

(The日本大学ランキング2025)

【2025教育リソース部門】

全国12位(近畿5位)

世界大学ランキング

(World University Ranking2026)

【総合部門】

全国15位(近畿4位)

・公立大では 全国2位

・医科系大では 全国1位



令和8年度入学定員 **100名**

- 一般枠 70名
- 県民医療枠 20名
卒業後、和歌山県内公的病院等でキャリア形成
- 地域医療枠 10名
卒業後、和歌山県内へき地医療拠点病院等でキャリア形成

入学生における出身高校の分布 (令和5~7年度入学生)

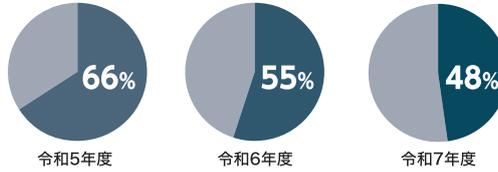


学生による授業評価

4.2点(5段階)
(令和6年度実施分)

学生の満足度が高い!

入学者新卒比率(現役合格率)



クラブ・サークルの所属人数

481名 / 609名

(令和7年度医学部1~6年生)

特色ある教育

VR教育

- ヘッドセット・コントローラー **50台保有**
- 教材作成 **60コンテンツ** (20名(8教室)の教員が作成に関与)

医療現場を先取り体験できる現場体験型VR

一時停止・巻き戻しで、医療機器、手技の「なぜ」を理解できます。



学生の声
先にVR体験しておく、自信をもって医療現場に行けます



解剖を立体で理解できる3D-CT VR

ズーム/回転機能で臓器を観察できます。



学生の声
VRを体験しておけば臨床現場でCT・MRIが理解しやすい



豊富な症例で学べる

豊富な症例実績を有する和歌山県立医科大学附属病院で臨床実習を学べます。同院は県内唯一の特定機能病院であり、高度救命救急センターも設置されています。

- 標ぼう診療科 **27診療科**
- 1日平均患者数 **1,524名**
- 延外来患者数 **370,244名**
- 延入院患者数 **221,305名**

附属病院は医学部と隣接しているのでとてもスムーズ

ドクターヘリ配備

平成15年1月に運航開始。当時は国公立大学病院及び関西圏では初導入でした。

- 年間出動件数 **547件**
- 累計出動件数 **9,181件** (導入~令和6年度末まで)



(上記は全て和歌山県立医科大学附属病院の令和6年度実績)

赤文字:臨床 緑字:基礎配属 青字:学生交流 ※ ()内は留学派遣の人数

過去5年の海外留学派遣状況 (令和2~令和6年度分)



臨床実習前の試験合格率

OSCE **100%**
CBT **97.1%**

到達率が高い!

(令和6~7年度)

「OSCE」と「CBT」とは、医学生が臨床実習に進んでよいかを評価する試験で、全国の医学生が受験します。どちらも令和5年度から公的化され、全国一律の合格基準で判定されます。合格(到達)した学生は臨床実習生(医学)として医療現場で実習を行います。

- ストレート卒業率 **93.0%** (令和6年度) 全国11位、近畿4位 参考:全国平均85.4% ※留年せずに卒業した学生の割合

- 県内就職率 **54.3%** (令和6年度) 国家試験合格者中、県内50名 (うち和医大附属病院41名)・県外42名

- 大学院【博士課程】 (令和7年5月1日現在) **148名** ・医学研究科96名 ・医学薬学総合研究科 医系52名

- MD-PhD(大学院準備過程) (令和7年10月31日現在・休学者除く) **53名** 将来「研究もできる医師」を目指す人に最適。

卒業生について

- 海外交流の状況 **12大学** (令和6年度)

- 「2024年世界で最も影響力のある研究者トップ2%」に本学研究者がランクイン (名誉教授・博士研究員含む。非常勤講師除く)

医・薬併せて **23名**



令和8年度入学定員

80名

(令和8年度入試)

- 一般選抜 40名 (前期日程)
- 学校推薦型選抜 40名



入学生における出身高校の分布 (令和5~7年度入学生)

和歌山県内 61.7%

近畿圏内 98.8%

近畿圏外 1.2%

学生による授業評価

4.8点 (5段階)

(令和6年度実施分)

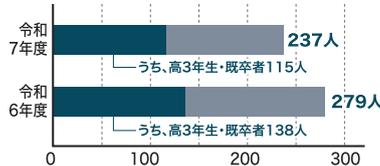
学生の満足度が高い!

クラブ・サークルの所属人数

313名 / 321名

(保健看護学部生 / 令和7年5月1日現在)

オープンキャンパス参加者数



高1・2年生も対象だよ



特色ある教育

多種施設で臨地実習

● 臨地実習協力施設数



県内84施設

(※令和6年度年報より)

医療機関、助産院、介護施設、保育所、小学校、企業、保健所等

本学附属病院を中核施設としつつ、多種多様な施設の協力により、充実した実習環境を確保しています。



少人数制の探究型学修「教養セミナー」

5~6名のグループに対し、教員2名以上を配置

(1年次通年授業)

学生一人ひとりの関心を大切にしながら、探求活動を丁寧にサポートします。学生は自ら探求したい課題を設定し、調査・対話・発表を通して、探究心・創造力・論理的・コミュニケーション能力を実践的に養います。



担任制を導入

学修に関する悩みや生活環境、進路選択など学生が抱える様々な問題をサポートするため、担任制を導入しています。

■担任制が必要であると答えた割合

2年生 **93.6%**

4年生 **97.1%**

■カリキュラムへの満足度

2年生 **93.6%**

4年生 **100%! 高評価!**

(※令和6年「大学生活に関するアンケート」(2、4年生対象)より)

授業以外での悩み相談にものってくれる



● 助産学専攻科 **10名**

(令和7年5月1日現在)

● 保健師コースの選択者 **48名**

(3年次選択者数・令和6年実績)

海外大学等との国際交流

【学生を派遣した海外大学等】

(令和6年実績 / 令和6年度年報より)

- カナダ・ビクトリア大学 **7名** (大学院生含む)
- インドネシア大学 **2名**
- タイ・マヒドン大学 **3名**
- 米国・バートン糖尿病児キャンプ **2名**

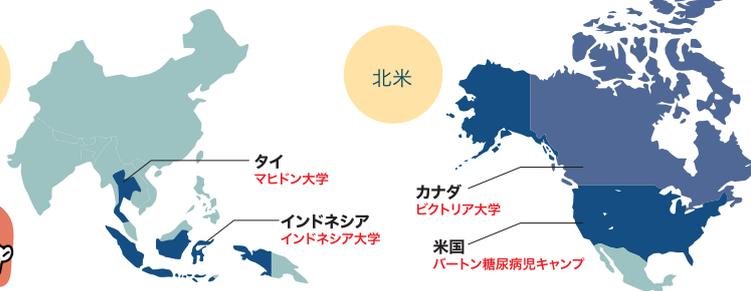
国際交流 助成金制度あり



カナダ・ビクトリア大学

東南アジア

北米



海外の看護は 勉強になるわ



卒業生 **236名**

(令和4~6年度)

ストレート卒業率 **94.6%**

※留年せずに卒業した学生の割合

● 就職 **208名 (88.1%)**

● 進学 **27名 (11.4%)**

- うち助産師養成所 26名 (11.0%)
↑ 本学専攻科20名を含む
- うち本学大学院 1名

本学大学院の学生数

- 博士前期課程 19名
- 博士後期課程 23名
- 大学院研究生 6名
- 博士研究員 10名

(令和7年5月1日現在)





令和8年度入学定員

100名

- 一般選抜 70名
- 学校推薦型選抜 30名
(県内枠15名、全国枠15名)

入学生における出身高校の分布 (令和5~7年度入学生)

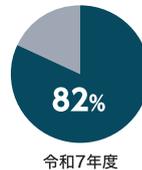
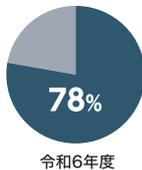
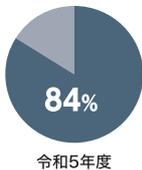


オープンキャンパス参加者数



入学者新卒比率

高3生の現役合格率



クラブ・サークルの所属人数

のべ 326名 / 492名
(令和7年度薬学部1~5年生)

学生による授業評価 (令和6年度実施)

平均 3.7点 (5段階)

	1年	2年	3年	4年
前期	3.8点	3.6点	3.7点	3.6点
後期	3.8点	3.0点	3.7点	3.6点

校舎の築年数 5年



優れた学習環境

大型分析機器を設置

- 核磁気共鳴装置
- 単結晶X線構造解析装置
- 液体クロマトグラフタンデム質量分析装置
- マトリックス支援レーザー脱離イオン化飛行時間質量分析装置
- 共焦点レーザー顕微鏡など



学生支援 担任制を導入

1年生から6年生まで学生全員に対し担任制度を導入。定期的に面談を行い学修支援を行っています。

担任の先生との面談はとても有意義な時間

3学部との連携が良い刺激になるよ

自習スペースの数 7カ所(約202席)



薬学部で行われているイベント(学会等) 10回

海外交流の状況 (過去5年の海外留学派遣状況)



パスポートとらなきゃ!



中国および東南アジアと交流を行なっています

中国
山東大学 / 1回(令和6年度:3名)
香港中文大学 / 2回
(令和5年度:6名、令和6年度:4名)

ブルネイ
ダルサラーム大学 / 2回
(令和4年度:2名、令和5年度:3名)

臨床実習前の試験合格率

	令和7年度	令和6年度
OSCE	100%	100%
CBT	100%	100%

到達率が高い!

「OSCE」、「CBT」とは薬学部生が実務実習に進んでよいかを評価するための試験をいいます。OSCEは実技試験、CBTはコンピューターで知識問題を解く試験で、全国の薬学部生が受験します。試験に合格(到達)した学生は、各11週間、薬局と病院で実務実習を行うことになります。

本学大学院の学生数【薬系】

大学院医学薬学総合研究科

- 博士課程 53名(うち薬系1名)
- 博士前期課程 10名(うち薬系2名)
- 博士後期課程 18名(うち薬系13名)

●「2024年世界で最も影響力のある研究者トップ2%」に本学研究者がランクイン

(名誉教授・博士研究員含む。非常勤講師除く)

医学部・薬学部 併せて 23名

ハイレベルな学習が望めます!

